

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	情報と職業 (Information and Vocation)		
ナンバリングコード	K30302	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 応用レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	教職関係科目(必修): 高等学校教諭一種免許状(情報)		
授業コード	K005801	クラス名	-
担当教員名	高 文局		
履修上の注意、 履修条件	特にありません。 プリントの配布や課題があります。遅刻・欠席をしないよう心がけてください。		
教科書	別途指示します。		
参考文献及び指定図書	『情報と職業』近藤 勲編著、丸善株式会社 『情報と職業』駒谷 昇一 他2人共著、オーム社 『情報化社会と情報倫理』辰巳 丈夫著、共立出版		
関連科目	情報メディアと社会、情報メディアと法・倫理、情報メディアとビジネス		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	社会の情報化にともない、就業構造や職種構成が大きく変化しています。さらに、企業における情報技術は、ビジネスモデルの変革だけでなく、雇用関係や人事管理など企業組織自体にも大きな変化をもたらしています。本科目は、このような前提のもと、情報と職業の関わり、情報に関する職業人としての在り方等を理解することを主な目的とします。
授業の概要	本講義ではまず、情報化社会の特質を歴史的・社会的文脈から把握し、その可能性と課題を事例を通じて理解してもらうことにします。そうすることによって、現実の社会情勢の推移並びに科学技術の発達と現状を正しく、またクリティカルに認識し、柔軟に、かつ、的確に対応できる資質・能力を身につけます。また、情報ネットワーク社会の中心的な役割を果たしているインターネットを中心に、働く環境と勤労観の変化に伴う諸課題を、事例を通じて考察し、情報化社会に参画する構成員としての知覚と責任感について議論します。 配布資料の概説などを通して、授業内容や課題のフィードバックができるようにします。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング プレゼンテーション 他
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】			10点	
【知識・理解】	①情報化社会の特質を把握し、その可能性と課題を理解する。 ②情報ネットワーク社会の中心的な役割を果たしているインターネットを中心に、働く環境と勤労観の変化に伴う諸課題を	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】				20点
【思考・判断・創造】	③情報化社会に参画する構成員としての知覚と責任感について考える。	20点	10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
[Sレベル] 到達目標を満たしている。 [Aレベル] 到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 到達目標を一部満たしている。 ・レポートやプレゼンテーション作品を評価対象にします。 ・レポートは、授業時に指示される記載注意事項に従って、Word文書として作成し締切日まで提出してください。 ・プレゼンテーションを評価対象にし、発表内容や態度などを総合的に評価します。 ・授業に欠席や遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。 ・配布資料の概説などを通して、授業内容や課題のフィードバックができるようにします。

○その他
・欠席・遅刻はしないように心掛けましょう。止むを得ず欠席・遅刻をする場合は、事前に担当教員にメールなどを通して連絡してください。また、担当教員の研究室に寄り欠席した日の資料を受け取ってください。

## 2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	○授業計画
<p>科目名：情報と職業 (Information and Vocation) 担当教員：高 文局</p> <p>授業コード：K005801</p>	<p>科目名：情報と職業 (Information and Vocation) 担当教員：高 文局</p> <p>授業コード：K005801</p>
<p><b>学修内容</b></p> <p><b>1. ガイダンス</b> 「情報と職業」授業の目的と意義について概説します。また、講義の進め方や評価方法についてのガイダンスも行ないます。</p> <p>予習：シラバスを参考にして授業内容などについて調べておく。(約2.0h) 復習：授業の進め方や評価方法などについて理解する。(約2.0h)</p> <p><b>2. 情報化社会を理解する</b> ここでは、情報化社会を理解するために基本となる概念や内容を学習します。さらに、社会の情報化とその課程を歴史的な観点から考察します。そうすることによって、現代の情報化社会を見つめ直してみよう。 ・「情報」とは？(情報の語源的な意味、データ・情報・知識の関係、情報の機能など) ・情報と形態と種類 ・情報の性質 予習：情報化社会の特質などについて調べる。(約2.0h) 復習：情報化社会を理解する。(約2.0h)</p> <p><b>3. 現代社会における情報化と情報化の「光の部分」と「影の部分」</b> ここでは、今日の社会における情報化を各領域別に考察し、社会の情報化にともなうさまざまな可能性と課題(問題)を中心に、情報化社会の「光の部分」と「影の部分」を、映像を観ながら概説し学習します。</p> <p>予習：情報化の「光の部分」と「影の部分」について調べる。(約2.0h) 復習：情報化の「光の部分」と「影の部分」について理解する。(約2.0h)</p> <p><b>4. 情報化社会と人権</b> 社会の情報化が急速に進展しつつある現在、最優先されるべき普遍的価値としての「人権」という観点から、情報化社会が直面するさまざまな問題を考察してみよう。 ・情報と人間生活 ・情報と人権(自己情報統制権、アクセス権、情報共有権、表現の自由、反監視権など) ・人権という観点から見た情報化社会の特質と問題点 予習：情報化社会における人権問題について調べる。(約2.0h) 復習：情報化社会と人権問題について理解する。(約2.0h)</p> <p><b>5. 情報化社会と情報倫理</b> ここでは、「情報倫理」を取り上げます。いわゆる「情報倫理」といわれているさまざまな対象を紹介しながら、それがどうして「情報倫理の問題」と呼ばれるようになったのか、そして問題点の解決には何が必要なのかなどを考え、これらの対象の問題構造を明らかにしていきます。</p> <p>予習：情報化社会における「情報倫理」の問題について調べる。(約2.0h) 復習：情報化社会と情報倫理について理解する。(約2.0h)</p> <p><b>6. 職業と社会</b> ここでは、職業の語意を中心に「職業倫理」について考えてみましょう。また、日本の産業構造の変化と職業について、歴史的な観点から考察してみよう。 ・職業の語意と職業倫理 ・日本の産業構造の変化と職業 予習：職業倫理について調べる。(約2.0h) 復習：日本の産業構造の変化と職業について理解する。(約2.0h)</p> <p><b>7. インターネットビジネス(1)ーインターネットとコミュニケーション</b> インターネットにより容易に必要な情報を検索することができるようになり、消費者が商品を購入する場合においても、まずインターネットから情報を得て、その情報を基にして商品を選択・購入するという新しい消費行動スタイルに変わりつつあります。また、企業においても広告宣伝や商品の販売などで、インターネットを活用した新しいビジネススタイルが生まれてきています。ここではインターネットにより、どのようなビジネスが生まれてきたか、インターネットがビジネスのやり方をどう変えつつあるかを学びます。まず、インターネットを理解するための基礎知識を学習することにし、まず、インターネット空間のコミュニケーションについて考える。 予習：インターネット空間のコミュニケーションについて考える。(約2.0h) 復習：インターネットとコミュニケーションについて理解する。(約2.0h)</p> <p><b>8. インターネットビジネス(2)ーマス・メディアと社会</b> ・大衆、群集、公衆について ・マス・メディアと社会 ・マス・コミュニケーション効果研究 予習：マス・メディアの特質と効果について調べる。(約2.0h) 復習：マス・メディアの特質や効果について理解する。(約2.0h)</p>	<p><b>学修内容</b></p> <p><b>9. インターネットビジネス(3)ー韓国の情報化</b> ここでは、IT先進国といわれる韓国の情報化を事例にインターネット空間の可能性と課題を考察します。 ・韓国の情報化と「ソーシャル・メディア」 ・情報化社会その可能性と課題 予習：ソーシャルメディアの特質や可能性について調べる。(約2.0h) 復習：ソーシャルメディアの特質や可能性について理解する。(約2.0h)</p> <p><b>10. 情報化社会における犯罪と法制度(1)</b> 私たちが情報化社会において安全に生活するためには、ハイテク犯罪に関する知識は不可欠となってきています。ここでは、ハイテク犯罪の事例を学ぶことで、情報化社会の危険性を正しく認識し、ハイテク犯罪に巻き込まれないように自己防衛をするためのセキュリティ技術などを学びます。 ・ハイテク犯罪 ・コンピュータウイルスや迷惑な電子メール 予習：情報化社会における犯罪と法制度について調べる。(約2.0h) 復習：情報化社会における犯罪と法制度について理解する。(約2.0h)</p> <p><b>11. 情報化社会における犯罪と法制度(2)ー知的所有権</b> ・工業所有権 ・著作権(著作財産権、著作人権) 予習：知的所有権について調べる。(約2.0h) 復習：知的所有権について理解する。(約2.0h)</p> <p><b>12. 情報化社会における犯罪と法制度(3)ー事例を中心に</b> ・ハイテク犯罪での著作権法違反 ・フリーソフトウェアの著作権など 予習：情報化社会における犯罪と法制度について事例を調べる。(約2.0h) 復習：情報化社会における犯罪と法制度を事例を通して理解する。(約2.0h)</p> <p><b>13. 職業指導1【情報関連職業と私ープレゼンテーションの準備ー】</b> 私たちは情報化社会の一員として仕事につくときに、たくさんの選択肢の中から自分の方向性を決めていかななくてはなりません。その過程では、たくさんの情報の中から必要なものを選び取っていくという、情報活用の力を養うために必要な要素も入っています。さらに、高校の教員を目指す人達にとっては、その情報を自分で理解するだけでなく、それをうまく伝えるというもっと身近な問題が生じてきます。物事を他の人に「伝える」ということは、自分が「理解する」ということよりも一歩上のレベルにあると言えます。この授業を通して、よりよい情報活用の方法を身に付けられ、私たちの自信にもつながり、また、それ。 予習：情報関連職業と私というテーマのもと、資料収集を行う。(約2.0h) 復習：PowerPointの基礎と情報収集と整理、発表資料の作成。(約2.0h)</p> <p><b>14. 職業指導2【情報関連職業と私ープレゼンテーションと評価(発表)ー】</b> ここでは、作成したプレゼンテーション資料をもとに「情報関連職業と私」というテーマで発表を行ないます。それぞれのプレゼンテーションについて、効果の有無や内容、方法が聞き手の期待に応えるものであったかについて評価します。その結果を自分のプレゼンテーションにフィードバックしましょう。 予習：プレゼンテーション資料作成と発表の準備を行う。(約2.0h) 復習：プレゼンテーション内容の点検と再考。(約2.0h)</p> <p><b>15. 授業の総括とまとめ</b> ここでは、今まで議論してきた内容について総括とまとめを行います。 予習：今まで学習した内容をまとめる。(約2.0h) 復習：ノートなどの資料整理を通して今まで学習した内容をまとめる。(約2.0h)</p> <p><b>16. 期末試験</b> これまでの講義内容を範囲とした小論文形式の試験を行います。 予習：期末試験に備える。 復習：</p>